

大分教育事務所訪問 45

大分市立野津原中から学ぶ

学校経営から学ぶ

スローガン「小さくてもキラリ輝く野中」のもと、学校の教育目標「知性に富み、感性豊かで、たくましく生きる力をもった生徒の育成」を実現するため、中期と短期の経営目標と具体的な方策を定め、目標管理や学校評価と連動しながら学校経営を行っています。また、ホームページも日々更新されており、コロナ禍においても保護者や地域の方へ積極的に発信をしています。

注目すべきは、学校評価の4点セットを元に学校経営計画表を作成しているため、それぞれの取組項目（取組指標）はどの資質・能力（3本柱）を育成するのかが明確です。今後は、「めざす生徒像」を支える、「教科横断的な資質・能力（学校として育成を目指す資質・能力）」を明確にすることで、教職員だけでなく、保護者・地域とのより協働的な取組が推進されると思われました。



授業から学ぶ

3年生の国語では、生徒達が集中して授業参加している姿が印象的でした。たんぼぼ学級においては、授業者の先生と支援をする方の立ち位置が、生徒に安心感を与えていると思われました。

今後は、指導案の「ふりかえり」には、生徒がどのような事を書くのか、どのような姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」として明記することで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思われました。

オンライン授業も参観させて頂きありがとうございました。授業を行う先生と、配信の画面や生徒の様子を観察する先生が協力して授業を行うことは、新たな授業へアイデアが生まれるだけでなく、カリキュラム・マネジメントへとつながると感じました。

また、社会の授業では、最初に本時の流れを示し、zoomとロイロノート、NHK for Schoolの教材を活用しているようでした。日常的にロイロノートを使って個々の考えを共有しているため、オンラインであっても効果的な実践が行なわれていると感じました。

新しい取り組みは最初から上手くいくことはありません。接続の不具合等のトラブルもあるでしょうが、そのような経験は全てデータとして蓄積されます。大変なご苦勞でしょうが、是非とも実践を継続して頂き、その成果と課題を広く発信し、共有していただくことをお願いいたします。



NO.223 2021年9月 野津原中学校

有り難い

教室でみんなと学べることがうれしい。ありがたいは、有り難いことだ。



NO.225 2021年9月 野津原中学校

より丁寧に

生徒の反応が見えないからこそ、より丁寧に説明をしています。画面越しであっても、その思いは生徒に伝わります。



NO.224 2021年9月 野津原中学校

思いも載せて

オンライン授業のメッセージ。打ち込む文字に、先生の思いも載せている。生徒の笑顔が見えてくる。